

河川環境教室

実施日：平成21年8月6日（木）午前8時30分～午後4時
会場：上大島キャンプ場河川敷～親水池下流水路周辺、相模川ふれあい科学館（水郷田名）
展示館および隣接実験田、環境情報センター 活動室
参加人数：35名（幼児1名、小学生16名、保護者13名）、学生ボランティア5名
講師：麻布大学、相模川ふれあい科学館



上大島キャンプ場の親水池下流水路周辺で石の標本や川の生き物を採取しました。この水路は砂利層を透過してとてもきれいな水が流れています。

区別のわからない石は先生に聞きながら、砂岩やせんりよく岩など7～8種類の石を見つけてみんな目を輝かせていました。それから、川の流れの勢いを学ぶため、板の上に大きさの違う石や砂利をのせて、同時に流れの中に沈めてみました。軽い石ほど早く流され重たい石は板の上に残っています。

川の中の石を積み上げてダムを作ったり、生き物探しではカゲロウやトビケラなど親子で夢中になって25種類も見つけました。

次はバス移動し、相模川ふれあい科学館で昼食休憩。科学館の藤森副館長の指導で実験田にドジョウやタモロコなどの生き物を放流しました。生き物の働きで稲作がどう違ってくるのか、秋の収穫が楽しみです。

最後に環境情報センターに戻って、岩石の顕微鏡観察を行いました。拡大してみる石の姿の美しいことにみんな感動していました。そして、班ごとに観察結果の発表です。

自分の目で発見し、自分の力でまとめ発表するという理科教育の基本を学んだ一日でした。

